平成24年12月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年７月30日
上場取引所　大

上場会社名　株式会社ピーエスシー
コード番号　3649　URL http://hos.ne.jp
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）相原　輝夫
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　（氏名）藤田　篤　TEL　089（947）3388
四半期報告書提出予定日　平成24年８月13日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年12月期第２四半期の業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第２四半期	741	34.9	201	303.1	202	367.4	115	434.0
23年12月期第２四半期	549	－	50	－	43	－	21	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第２四半期	54.79	52.21
23年12月期第２四半期	11.45	10.83

（注）当社は、平成22年12月期第３四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、23年12月期第２四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第２四半期	1,376	1,056	76.8
23年12月期	1,355	952	70.3

（参考）自己資本　24年12月期第２四半期　1,056百万円　23年12月期　952百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	－	0.00	－	15.00	15.00
24年12月期	－	0.00			
24年12月期（予想）			－	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
（23年12月期期末配当の内訳）　普通配当 12.00円　上場記念配当 3.00円

３．平成24年12月期の業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,883	22.0	523	29.9	522	32.1	318	43.3	153.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期２Ｑ	2,150,900株	23年12月期	2,071,600株
②　期末自己株式数	24年12月期２Ｑ	―株	23年12月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期２Ｑ	2,110,995株	23年12月期２Ｑ	1,891,346株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「１．当四半期の業績等に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（３）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第２四半期累計期間 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（７）重要な後発事象 …… 7
４．補足情報 …… 8
（１）経営管理上重要な指標の推移 …… 8
（２）生産、受注及び販売の状況 …… 8
添付資料平成24年12月期第２四半期累計期間の業績予想及び実績について …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資や公共投資が増加し、個人消費も緩やかな増加を続けるなど、復興需要を背景に持直しの動きが見られました。

当社が市場とする医療業界におきましては、政府の医療構造改革の推進等により、医療機関にさらなる医療行為の高水準化と経営の効率化が要求されるとともに、「個人と医療機関」「地域の各医療機関」「各地域連携医療圏」を繋ぐ地域連携医療に対する医療機関の機能強化及び在宅医療の充実に向け、IT化の動きは恒常的な拡大傾向を一層顕著に示しました。

このような環境の中、当社では、大学病院をはじめとする大規模病院への医療用データマネジメントシステムClaioやClaioシリーズ製品（※）、院内ドキュメント／データ管理システムDocuMaker及び紹介状添付CD／DVD取込システムPowerPDI+ MoveByの販売・導入に注力するとともに、代理店による診療所への電子カルテREMORA、Claioの導入にも積極的に取組み、大規模案件18件及びクリニック・小規模病院案件43件の新規・追加導入を行いました。

また、当第２四半期より販売を開始したWeb／ローカル連携ツールRemoteCAPにつきましては、地域連携も含め11件の導入を行いました。

この結果、当第２四半期累計期間におきましては、１案件当たりの利益率が直販に比べて高い代理店案件の受注が拡大したことや、売上高におけるソフトウェアの販売額の占める割合の増加に伴い利益が増加したことから、売上高は741,584千円（前年同四半期比134.9％）、営業利益は201,857千円（同403.1％）、経常利益は202,245千円（同467.4％）、四半期純利益は115,660千円（同534.0％）となりました。

研究開発活動については、中小規模病院向けソリューションの研究開発に鋭意取組み、当社製品導入工数を大幅に削減・短縮し、システム導入の高利益率化と、システムのカスタマイズを行うことなくシステム間データ連携を可能とするP-Launcherを開発いたしました。また、このP-LauncherをバンドルしたClaio、DocuMaker等既存製品の廉価版パッケージを、平成24年12月期第３四半期より中小規模医療機関を対象とする戦略的製品群として、代理店を中心に販売開始を決定いたしました。

※紙カルテ・文書アーカイブシステムC-Scan、カルテ記事記載システムC-Noteなど、Claioと連携することで院内データの一元管理を実現する「画像と文書の統合ソリューション」群であります。

（２）財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末の総資産は、1,376,701千円となり、前事業年度末と比較して21,053千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の増加347,726千円及び商品の増加20,021千円に対し、受取手形及び売掛金の減少426,082千円による流動資産の減少61,056千円と、無形固定資産（主に市場販売目的のソフトウエア）の増加70,373千円及び東京支店の増床に伴う敷金の増加6,919千円による固定資産の増加82,110千円によるものであります。

負債につきましては、319,867千円となり、前事業年度末と比較して83,066千円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少50,011千円、未払金の減少27,431千円及び未払法人税等の減少12,353千円によるものであります。

純資産につきましては、1,056,834千円となり、前事業年度末と比較して104,120千円の増加となりました。これは、新株予約権（ストック・オプション）の行使に伴う資本金及び資本剰余金の増加9,912千円並びに利益剰余金の増加84,586千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して238,226千円増加し、548,315千円となりました。当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、521,661千円（前年同四半期比255.9％）となりました。主な要因は、税引前四半期純利益が200,971千円、売上債権の減少による増加426,082千円に対し、法人税等の支払による減少97,276千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、272,313千円（前年同四半期比305.8％）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出143,844千円及び定期預金の預入による支出126,500千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、11,121千円（前年同四半期は275,882千円の獲得）となりました。主な要因は、新株予約権（ストック・オプション）の行使に伴う株式の発行による収入19,825千円に対し、配当金の支払による支出30,621千円であります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想は、現時点では、平成24年２月14日の公表数値に変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	427,089	774,815
受取手形及び売掛金	570,499	144,416
商品	20,725	40,746
仕掛品	2,185	231
貯蔵品	750	750
その他	24,521	23,753
流動資産合計	1,045,771	984,715
固定資産		
有形固定資産	52,650	55,302
無形固定資産		
ソフトウエア	195,676	266,049
その他	344	344
無形固定資産合計	196,020	266,394
投資その他の資産	61,204	70,289
固定資産合計	309,876	391,986
資産合計	1,355,647	1,376,701
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,013	24,002
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	101,823	89,470
その他	110,350	92,019
流動負債合計	386,187	305,491
固定負債		
その他	16,746	14,375
固定負債合計	16,746	14,375
負債合計	402,934	319,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,982	245,894
資本剰余金	205,982	215,894
利益剰余金	510,542	595,128
株主資本合計	952,506	1,056,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207	△83
評価・換算差額等合計	207	△83
純資産合計	952,713	1,056,834
負債純資産合計	1,355,647	1,376,701

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	549,560	741,584
売上原価	272,280	306,784
売上総利益	277,280	434,799
販売費及び一般管理費	227,205	232,941
営業利益	50,074	201,857
営業外収益		
受取利息	39	323
受取配当金	－	150
助成金収入	600	1,420
技術指導料	300	－
その他	116	231
営業外収益合計	1,055	2,124
営業外費用		
支払利息	904	512
支払保証料	896	899
株式交付費	6,061	325
その他	0	0
営業外費用合計	7,862	1,736
経常利益	43,268	202,245
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,543	－
有形固定資産除却損	－	1,273
特別損失合計	1,543	1,273
税引前四半期純利益	41,725	200,971
法人税、住民税及び事業税	11,490	86,996
法人税等調整額	8,573	△1,686
法人税等合計	20,064	85,310
四半期純利益	21,661	115,660

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	41,725	200,971
減価償却費	3,061	7,362
ソフトウエア償却費	53,841	72,819
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,543	－
受取利息及び受取配当金	△39	△473
支払利息	904	512
株式交付費	6,061	325
有形固定資産除却損	－	1,273
売上債権の増減額（△は増加）	235,224	426,082
たな卸資産の増減額（△は増加）	△30,412	△18,067
仕入債務の増減額（△は減少）	24,786	△50,011
未払金の増減額（△は減少）	△983	△28,724
未払費用の増減額（△は減少）	5,769	7,646
未払消費税等の増減額（△は減少）	△16,592	△5,553
その他	△2,613	4,815
小計	322,274	618,979
利息及び配当金の受取額	39	473
利息の支払額	△515	△515
法人税等の支払額	△117,967	△97,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,832	521,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56,000	△126,500
定期預金の払戻による収入	66,037	17,000
有形固定資産の取得による支出	△6,360	△8,655
無形固定資産の取得による支出	△78,779	△143,844
投資有価証券の取得による支出	△11,079	－
その他	△2,867	△10,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,048	△272,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,000	－
株式の発行による収入	348,864	19,825
株式の発行による支出	△6,061	△325
配当金の支払額	△16,920	△30,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	275,882	△11,121
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	390,666	238,226
現金及び現金同等物の期首残高	114,458	310,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	505,124	548,315

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであります。

（１）経営管理上重要な指標の推移

		第27期 第２四半期累計期間	第28期 第２四半期累計期間	第27期
売上高	（千円）	549,560	741,584	1,543,160
営業利益	（千円）	50,074	201,857	402,742
経常利益	（千円）	43,268	202,245	395,061
四半期（当期）純利益	（千円）	21,661	115,660	221,961
純資産	（千円）	752,595	1,056,834	952,713
総資産	（千円）	992,293	1,376,701	1,355,647
１株当たり純資産	（円）	363.36	491.35	459.89
１株当たり四半期（当期）純利益	（円）	11.45	54.79	111.98

（２）生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第２四半期累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
医療システム事業	269,375	128.6

（注）１．金額は当期総製造費用によっております。
２．上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第２四半期累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
医療システム事業	773,922	161.7	272,350	259.1

（注）１．上記の金額には消費税等は含まれておりません。
２．受注残高は、当第２四半期より、定期的なメンテナンス及びライセンス収入の受注残高を含めず記載しております。

③ 販売状況

当第２四半期累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
ソフトウエア	602,021	156.9
ハードウエア	33,355	44.7
メンテナンス等	106,206	116.5
合計	741,584	134.9

（注）１．当第２四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第２四半期累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）		当第２四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	
	金額（千円）	割合（%）	金額（千円）	割合（%）
日本電気株式会社	95,492	17.4	272,572	36.8
日本電算機販売株式会社	54,937	10.0	36,183	4.9
モアシステム株式会社	61,811	11.2	11,019	1.5

２．上記の金額には消費税等は含まれておりません。

添付資料

平成24年12月期第２四半期累計期間の業績予想及び実績について

１．平成24年12月期第２四半期累計期間の業績予想及び実績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当初予想	768	145	145	86	41.51
前回予想（※）	740	200	200	116	54.95
今回発表値	741	201	202	115	54.79

※平成24年７月17日に発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」により修正しております。

２．業績について

当第２四半期累計期間の実績は、売上高は741,584千円（前年同四半期比は134.9%）、営業利益は201,857千円（同403.1%）、経常利益は202,245千円（同467.4%）、四半期純利益は115,660千円（同534.0%）となりました。

また、売上高営業利益率は27.2%（前年同四半期より18.1%増加）、売上高経常利益率は27.3%（同19.4%増加）、売上高四半期純利益率は15.6%（同11.7%増加）となりました。

当第２四半期累計期間においては、代理店販売が好調であったことに加え、直販においても、偏に売上高を増加させるのではなく、ソフトウエアメーカとして高利益率の確保に向けた販売方針を推進しハードウエアの取扱いを最小限に留めることで、ソフトウエアの販売にヒューマンリソースを傾注し、仕入や導入作業に係る工数の削減が可能となったことから、利益率は前年同四半期と比較し大幅に向上いたしました。

３．通期業績予想

通期の業績予想は、現時点では、平成24年２月14日の公表数値から変更いたしません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。